

## 北里大学病院を受診された患者さん・ご家族の方へ

当院では下記の臨床研究を行っています。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお申し出ください。

研究課題名 (受付番号/承認番号)	胃下垂全摘術の栄養学的有用性を検証する単施設後方視的観察研究
当院の研究責任者 (所属・職位)	医学部上部消化管外科学 教授 比企 直樹
本研究の概要・背景・目的	背景：胃全摘術後は著しく体重が減少しますが、胃上部のグレリン分泌領域が失われることが要因の一つと考えられています。上部消化管外科では、胃中～上部におよぶ胃癌に対し手術の安全性と同領域の温存を目的とし、胃小弯を全切除して穹窿部を残す胃下垂全摘を行い、胃全摘術を回避するように努めています。 目的：胃下垂全摘術は胃全摘術と比較し栄養学的に優れていることを示すことです。
調査データ 該当期間	2020年10月1日から2028年10月30日までの情報を調査対象とします。
対象となる患者さん	2020年10月1日から2023年10月30日の間に、上部消化管外科にて胃切除を施行された胃癌患者のうち、胃全摘および胃下垂全摘を行った患者さん。
研究の方法 (使用する試料等)	利用する情報 2020年10月1日から2028年10月30日までの電子カルテに記載のある診療記録、検査データを利用します。 日常診療で採血を行った残余血液を提供します。
試料/情報の 他の研究機関への 提供 および提供方法	他の機関への試料・情報の提供はありません。
利用又は提供を開始する 予定日	利用又は提供開始予定日： 研究機関の長の許可日から
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者さんを直接特定できる個人情報は削除致します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究の遂行のための費用は、上部消化管外科学研究費を使用します。研究に関する利益相反は、北里大学利益相反委員会で審査を受け、適切に管理されます。
お問い合わせ先	本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。 ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申し出下さい。 また、試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究の対象と

しませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。  
ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には提供していただいた試料・情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合がありますが、公表される結果には特定の個人を識別することができる情報は含まれません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：  
所属・職位：北里大学医学部 上部消化管外科学・助教  
担当者：櫻谷美貴子（サクラヤミキコ）  
電話：042-778-8111

備考